



## トルコ

価値観が大きく変わった  
トルコ留学

## 津布久 遊さん



トルコ最西端の都市のモスクにて

2006年3月	女子学院高等学校 卒業
2010年3月	東京藝術大学 美術学部建築学科 卒業
2010年4月～2013年3月	東京藝術大学大学院 美術研究科建築専攻
2011年9月～2012年7月	トルコ (交換留学) Mimar Sinan Fine Art University 都市計画学科大学院
帰国後	2013年 東京の設計事務所に勤務 2018年 一級建築士免許を取得後独立 現在は建築士、大学講師

## 異なる文化に浸かってみたい

私は大学院の交換留学制度で留学しました。大学院を1年休学し、提携の大学で学ぶことができる制度です。幼少期から観光で様々な国を訪れた経験から、「いつかは観光ではなく、生活者として異文化に身を置いてみたい」と感じていたところでしたので、いい機会だと思い学内選考に立候補しました。建築の設計を学んでいたため、社会に出る前にいろいろな場所や文化に浸かり、自分のデザインの幅も広げたいと思いました。

## 未知の場所「トルコ・イスタンブール」

選択肢はイスタンブールのほかにミラノ、トリノ、バルセロナ、北京、ソウルなどがあり、当時の自分にとってはイスタンブールが最も未知だったので、興味を持ちました。大学では建築史の授業で西洋建築史を学んだり、ヨーロッパのデザイン情報に触れる機会は多々ありましたが、中東文化・イスラム文化について知る機会はあまりありませんでした。トルコは「アジアの空気とヨーロッパ空気が混ざる場所」という認識があり、想像しただけでわくわくしました。

## 刺激的な毎日

大学院では都市計画の授業を履修しました。グループワークがトルコ語で進められるため、参加が難しいと感じた場合は、個人でリサーチ・提案をし、英語でプレゼンテーションをしました。ドイツの大学との合同ワークショップにも参加し、考え方の共通する部分や異なる部分を知りました。日本人として細部に気づきやすいという自分の強みも発

見しました。

住まいはトルコ人女性が管理するシェアハウスに入居しました。大学生、社会人、ダンサーなどそれぞれ明確なビジョンを持った女性が集まっていました。毎夜将来の夢や人間関係などの話題で意見交換をする日々が大変刺激的でした。

大学の授業だけでなく、トルコでの生活全体を通じた感想ですが、トルコで出会った人々は考え方が柔軟で、帰国後の自分の考え方にも大きく影響しました。

## 外国人クライアントとの仕事

交換留学を終え日本の大学院に復学し修了した後は建築家としての独立を視野にいれ、日本の設計事務所で勤務しました。その後独立し、仕事の裁量が増えた今では、留学を通して会得した度胸を活かして、外国人クライアントの仕事も受注しています。



美しいアヤソフィア



海沿いの大学キャンパスのホール

## 根気よく、柔軟に

外国での生活は、とにかく「根気よく伝える続ける」場面が多く、恥ずかしがらずに伝える習慣が身に付きました。また、トルコ人になってより柔軟に考えることで、「失敗しても大丈夫」と考えることができるようになり、新しいことに挑戦するマインドセットもできたと思います。現在の仕事での創意工夫に繋がっています。

## トルコは一度訪れたら大好きになる国

イスラム教ならではの美しいモスクが至る所にあり、とにかく圧倒されます。遺跡が数多く残っていて、世界史が好きな方にもおすすめの国です。また、世界3大料理のひとつといわれているトルコ料理もとても美味しいです！

## 私の語学勉強法

## 英語でトルコ語を学ぶ準備

英語対策はTOEICの勉強、シャドーイング、英語日記などで留学前に基礎を固めました。トルコ語対策は留学前に単語と文法の本を読み、現地で語学学校に通いました。語学学校、大学、都市部の日常生活は英語を使用したため、事前に英語を集中的に訓練しておいたことが良かったと思います。語学の勉強にゴールは無く、今でも学びを続けています。



## 大韓民国

### 韓国留学から世界を守る セキュリティの道へ

#### 藤井 里恵さん



景福宮で伝統衣装体験

2020年3月	女子学院高等学校 卒業
2020年4月～2024年3月	お茶の水女子大学 理学部
2023年9月（1学期）	〈トビタテ！留学 JAPAN〉 韓国（交換留学） 高麗大学校
2024年4月～	お茶の水女子大学大学院 理学専攻
2024年9月（1学期）	〈JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）〉 ドイツ（交換留学） University of Wuppertal Computer Simulation in Science
2025年3月（3か月）	〈滞在費・旅費補助あり〉米国（短期研究留学） University of California, Los Angeles Institute for Pure and Applied Mathematics
2025年10月	42 Tokyo 入学（大学院と並行して在学中）
帰国後	2026年3月 博士前期課程修了予定
卒業後	博士前期課程修了後は、日本でサイバーセキュリティエンジニアとして就職予定

#### 英語と留学に憧れて

中学生の頃、英語が話せず、空港で困っている外国の方を助けられなかったことがありました。その悔しさから英語学習を続け、大学で学ぶ中で、国際的に活躍したいという思いを抱くようになりました。一方で、費用や成績を理由に「留学は自分には難しい」と思い込んでいました。しかし、周囲の友人が留学に挑戦する姿に背中を押されて、最初は短期でもいいから海外に出たいと考え、大学の留学相談に行ったことがきっかけです。

#### 情報収集が留学生生活を左右する

最初の留学先として韓国の高麗大学校を選んだ理由は、英語で情報セキュリティを学べる環境が整っていたからです。留学準備では複数の奨学金に応募し、その中でトビタテ！留学 JAPAN に採用され、支給を受けることができました。一方、住居探しには苦勞しました。大学の学生寮は先着順で、応募開始直後に申し込んだもののキャンセル待ちとなり、別の住居を申し込む直前に入寮確定の連絡を受けました。留学における情報収集と事前準備の重要性を実感しました。

#### 泣いた分だけ優しくなれた留学生活

韓国では、情報セキュリティやネットワークに関する授業を英語で受講しました。加えて初級韓国語の授業も履修し、少しずつ現地の言葉で会話できるようになる楽しさを知りました。学生寮ではルームメイトと夜遅くまで語り合い、国籍を越えた友情を築くことができました。一方で、異国で生活する孤独感から涙の夜を過ごすこともありました。そんな時に優しく寄り添い、励ましてくれた友人たちの存在は大きな支えでした。留学が終わる頃には、今度は韓国の友人に会えなくなることが寂しくて涙を流していました（笑）。学問だけではなく、これからもずっと大切にしたい友人たちに出会い、人間としても成長できた留学でした。



世界遺産の古都・慶州へ

#### セキュリティ技術で世界平和に貢献

学業に加えて、韓国やヨーロッパ各地の博物館、ヒトラーの地下防空壕、強制収容所を訪れ、戦争の歴史について学びました。これらの訪問を通して、技術の進歩が人類にもたらす影響について深く考えるようになりました。そして、技術を平和のために活用するセキュリティ技術者になりたいという思いが強まりました。

#### 3カ国留学から技術の道へ

韓国から帰国後、ドイツへの交換留学やアメリカでの研究に挑戦し、3カ国でそれぞれ異なる文化や価値観に触れることで、多様な留学経験を積みました。博士前期課程修了後は、留学で培った専門的な知識と国際的なコミュニケーション力を活かし、グローバルな環境でサイバーセキュリティエンジニアとして働く予定です。



高麗大の学食

#### 困ったら周りの人に頼ろう

人生は一度きり。費用や成績を理由に諦める前に、まず留学説明会や相談に行ってみてください。また、留学前から自分の留学したい国や学校から日本へ留学中の学生と友達になったり、留学先では日本人学生とグループチャットを作って定期的に情報交換をしたり、困ったときに助けを求められるようにしておきましょう。

#### 私の語学勉強法

##### 語学学習を日常に

留学前から現在に至るまで、英語や海外生活に関する YouTube を楽しみながら視聴しています。さらに、大学で開催されていた留学生との交流会にも積極的に参加し、実際に英語を使う機会を意識的に増やしていました。また、TOEFL や IELTS などの語学試験において目標を設定し、それに向けて学習することで、モチベーションを保っていました。